

PRESS RELEASE
報道関係各位

2026 年 8 月 7 日
株式会社セゾンテクノロジー

セゾンテクノロジー、ファイル転送ツール分野パッケージカテゴリーで 23 年連続^{*1} 国内市場ベンダーシェア 1 位を獲得

～株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2026 年版」～

株式会社セゾンテクノロジー（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：葉山 誠、以下セゾンテクノロジー）は、株式会社富士キメラ総研（以下富士キメラ総研）から 2026 年 7 月に発刊された「ソフトウェアビジネス新市場 2026 年版」のファイル転送ツール分野パッケージカテゴリーにおいて、国内市場ベンダーシェア 1 位（2025 年度実績）を獲得したことを発表します。これにより 23 年連続^{*1}で国内市場ベンダーシェア 1 位を継続しています。

なお、同レポートにおける「2025 年度データ連携ツール（EAI/ESB、ETL/ELT、iPaaS）」（iPaaS：「HULFT Square」）の SaaS/PaaS カテゴリーにおいても、国内市場ベンダーシェア 3 位の 11.2%を獲得しています。

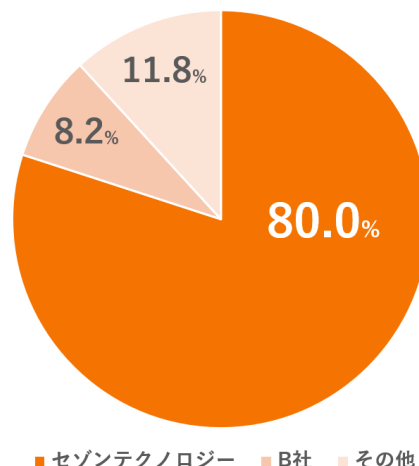
富士キメラ総研のレポート内における 2025 年度および 2026 年度の市場動向について

2025 年度のファイル転送ツールの国内パッケージ市場規模は、富士キメラ総研の調査によると 85 億円で、そのうちセゾンテクノロジーはベンダーシェア 80.0%を記録、23 年連続でベンダーシェア No. 1 を獲得しました。同分野において引き続き圧倒的な支持を得られていることが読み取れる結果となり、ファイル連携ミドルウェア「HULFT」シリーズは、国内でデファクトスタンダードとして高いシェアを継続的に有していると評価されています。



出典：株式会社富士キメラ総研「2004-2010パッケージソリューション・マーケティング便覧」「ソフトウェアビジネス新市場 2011-2026年版」＜ファイル転送ツール パッケージ・金額ベース・ベンダーシェア＞2003年実績～2025年実績（2023年度実績より現社名）

富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2026年版」
2025年度ファイル転送ツール「パッケージ」ベンダーシェア



ファイル／データ連携の今後について

セゾンテクノロジーは、2026 年度以降も企業における生成 AI や AI エージェントの活用が高まる中で、企業が保有するデータと AI の連携や、IT システムのクラウドシフトによる SaaS 間連携およびレガシーシステムのモダナイゼーション、また、金融機関におけるフロンティア AI や耐量子計算機暗号 (PQC) に対するセキュリティリスクへの対応としても、ファイル／データ連携の重要性がさらに注目されていくと予想しております。

*1 出典：株式会社富士キメラ総研「2004-2010 パッケージソリューション・マーケティング便覧」「ソフトウェアビジネス新市場 2011-2026 年版」＜ファイル転送ツール パッケージ・金額ベース・ベンダーシェア＞2003 年度実績～2025 年度実績（2023 年度実績より現社名）

セゾンテクノロジーについて

セゾンテクノロジーは、データと AI をビジネスの成長エンジンへと進化させるデータインテグレーターです。「世界中のデータをつなぎ、誰もがデータを活用できる社会を作る」をミッションに、グローバルで信頼されるデータ連携基盤を軸としたソリューションや IT サービスを展開し、金融や流通業をはじめとする多種多様な業種向けのシステム開発・運用を提供しています。現在はクラウド型データ連携プラットフォーム (iPaaS) である「HULFT Square」を核に、長年培ったデータ連携技術で業務プロセスの自動化、セキュアな情報基盤の構築、AI 領域のビジネス実装やデータ活用基盤の高度化を実現しています。

- セゾンテクノロジー：<https://www.saison-technology.com/>

商標関連

- HULFT、HULFT Square、DataSpider Servista その他関連製品は、株式会社セゾンテクノロジーの登録商標または商標です。
- その他の会社名、製品名、サービス名等は、各社の商標または登録商標です。

報道関係者様からのお問い合わせ先

株式会社セゾンテクノロジー

広報担当：山下

PR@saison-technology.com（広報代表）